

社団法人 未踏科学技術協会
平成21年度 事業報告書

平成21年度、未踏科学技術協会は、多分野にわたる先端的科学技術の総合的、基礎的または共通的な調査研究およびそれらの成果の普及、ならびに情報の交換や国内外の研究者間の交流を図るため、下記のような事業活動を推進してまいりました。

この報告書は、平成21年度の当協会の活動状況をまとめたものです。

A. 庶務事項

1. 理事会2回（第215回～216回）を開催いたしました。
2. 定例総会2回（第73回、第74回）を開催し、平成20年度事業報告および収支決算、平成22年度事業計画および収支予算の承認および次期役員が選任されました。
3. 評議員会を1回開催致しました。
4. 平成21年度における会員の異動状況は、[別表1]のとおりでした。

B. 事業活動

1. 調査・発掘・展開の推進

- (1) (株) ソディック新横との共同研究開発「小型高精度リニアモータ用希土類磁石の量産技術及びパルスモータ等に用いる超伝導磁石の実用化技術検討に関する研究開発」を推進いたしました。
(調査研究期間 2008年10月16日～2013年10月15日)
- (2) (株) 放電精密加工研究所との共同研究開発「放電加工技術の高効率化、及びその目的に適合する技術と材料の最適化」を開始いたしました。
(2010年3月17日～2013年3月16日)
- (3) 新技術振興渡辺記念会 科学技術調査研究助成を受けて3件の調査研究を推進しました。

2. 講演会の開催、研究会、委員会等の運営および各種調査・普及活動

- (1) 材料イノベーション、刮目途上国、クリーンエネルギー、IT イノベーション、磁性材料を題材に特別講演会（6回）を開催致しました。
- (2) 公開研究会では、リスク研究会は研究会を3回開催、秋からスタートしたアドバンストキャパシタ技術研究会（AC技術研究会）ではフォーラムを1回開催いたしました。
- (3) 平成21年度 飯綱・サイエンスサマー道場「超」の世界を見るー放射光の威力」を開催致しました。
- (4) 消費者環境教育指導者育成研修会を開催いたしました。

3. 外部からの受託・請負事業

- (1) 公的機関からの請負事業の実施
物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、和歌山県立医科大学から調査研究、会議運営等5件の事業を請け負い、完了いたしました。
 - ・物質・材料研究機構 3件
 - ・産業技術総合研究所 1件
 - ・和歌山県立医科大学 1件(調査題目等は[別表2]に記載。)
- (2) その他民間からの受託及び請負事業の実施
 - ・経済産業省が推進する「カーボンフットプリントに関する消費者意識調査」に関して、受託元「みずほ情報総研」からの再委託として協力いたしました。

- ・経済産業省が推進する「カーボンフットプリントデータベースの整備」（受託元「産業環境管理協会」）に関して「データベース国際ワークショップの開催支援」を、受注いたしました。
- ・放電加工技能検定実施に協力いたしました。
実技試験に関し、試験の実施への協力および検定用表面粗さ比較標準片および比較測定ゲージの作成。
検定用試験問題作成のための技能検定委員派遣（中央職業能力開発協会）。
- ・新材料、新技術、環境問題に係る調査研究の実施、国際会議の開催、および学会などの運営に事務局として協力いたしました。 調査研究項目、会議は[別表2]に記載。

4. 特定研究会の運営

各研究会では次のような事業及び会議を開催いたしました。活動の詳細は[別表2]に記載。

(1) 超伝導科学技術研究会

シンポジウム(1回)、ワークショップ(3回)、研究会運営のための総会(1回)、幹事会(6回)、各種委員会を開催し、会員むけの会報(4回)を発行致しました。

超伝導材料研究においてインパクトを与えた人を対象に超伝導科学技術賞を選考し、授与式を行いました。

(2) バイオ・ナノテクフォーラム

シンポジウム(1回)を開催し、若手研究者を対象に優秀論文発表に対して高木賞を授与致しました。

バイオ・ナノテクフォーラムイブニングセミナー(6回)を開催いたしました。

また、フォーラムは、21年度末を以って特定研究会の活動を終了し、次年度から公開研究会として活動することにいたしました。

(3) エコマテリアル・フォーラム

フォーラム運営のための総会(1回)、理事会(1回)、幹事会(3回)等の各種委員会を開催する他、アニュアル・シンポジウム(1回)、研究テーマワーキンググループ等の活動としてワークショップ(5回)を開催いたしました。また、第9回エコマテリアル国際会議を開催いたしました。

(4) ナノ粒子研究会

講演会(3回)の開催、ニュースの発行(3回)、運営のための総会(1回)・幹事会(3回)活動を見直すための検討委員会(1回)の各種委員会を開催致しました。

本年度をもって研究会設置期間が終わることから、特別研究会としての活動を終了し、次年度からは公開研究会として活動を行うことになりました。

(5) 「生命をはかる」研究会

研究会4回を開催しました。その企画運営のための幹事会(4回)を開催しました。

また、特定研究会としての活動を1年間延長することにいたしました。

第6回コンビナトリアルバイオエンジニアリング会議を後援いたしました。

5. 出版・広報事業

(1) 広報活動の一環として、会報「未踏科学技術」を継続発行(隔月)しました。

(2) 特定研究会の活動による会報やニュースレター、その他、平成21年度に完了した調査研究の成果報告書および平成21年度中に開催した会議の講演録や資料等を多数発行、また発行に協力いたしました。 以上の刊行物の詳細は[別表2]に記載。

(3) 協会の活動や、主催する行事、事業の広報のためにホームページを作成、更新作業を行いました。